

公民館だより

2026年
8月1日号



みなみやはた

(発行)

高崎市南八幡公民館

〒370-1213 山名町 167-1

TEL・FAX346-5587

8/9(日) ふれあい館
14:45 開会式
20:00 花火打上



納涼祭駐車場案内図



【予告】 来月の9月1日号で

「PPバンドを使ったバック作り教室」の
参加募集記事を出します

10月開催(10/6・13・20・27) 予定!



南八幡地区第2回スポーツフェスは10月12日(月祝)開催

裏面も、ご覧ください。

心豊かな地域づくりのための懇談会

人権尊重都市宣言の精神を市のすみずみまで浸透させ、市民が人権についての正しい理解と認識を深め、民主的で思いやりの心がゆきわたる社会の実現を目指すために、高崎市南八幡公民館において懇談会を開催します。

日 時：令和8年9月2日（水）
午後1時30分～3時（1時間30分程度）
会 場：高崎市南八幡公民館（2階集会室（ホール））

公民館だよりを見て参加希望の人は、
令和8年8月26日（水）までに、電話で
お申込みください。
（南八幡公民館027-346-5587）

テーマ：「人権が尊重される心豊かな地域をつくるために」
～他の人の感じ方に気づき、
誰もが自分らしく生きられる地域社会～

- 内 容：1. 主催者あいさつ
2. 趣旨説明
3. 人権啓発映画視聴
「君の景色を知ったとき」
4. 懇談
・参加者同士による意見交流
・人権擁護委員から懇談会のまとめの話
・学校長から各学校における人権教育に関わる取組の紹介



主 催：高崎市教育委員会、南八幡公民館

後 援：高崎市市長会・一般社団法人高崎市長寿会連合会・高崎市PTA連合会・
高崎市立幼稚園PTA連合会・高崎市民生委員児童委員協議会・
高崎市人権擁護委員会・高崎市子ども会育成団体連絡協議会



あらすじ

就活に失敗し大学5年生となった尾上蓮は、図書館でバイトを始めた。ある日、視覚障害がある利用者・石井健介と、健介行きつけのカフェのブラジル人店員・ジュリアと出会う。何気ない会話から、健介とジュリアが、視覚障害者・日本に住む外国人として日々困っていることを知る蓮。それらは全て、蓮が日々当たり前利用しているものばかりだった。驚く蓮に健介はこう話す。

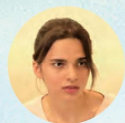
「大多数の人にとっての当たり前から、こぼれ落ちる人がある。
でも、人の力で補ったり、支え合えるはず」

翌日、蓮は図書館で理央という少女を見かける。理央は以前、お気に入りの本がないと泣き叫び、常連客からクレームを受けた蓮が注意をしたことがあり、蓮は父親と一緒にしょんぼりと帰る理央の姿を覚えていた。

蓮が声をかけると、嬉しそうに絵本を読んで聞かせる理央。字は読めないようだが、それでも楽しそうにストーリーを紡ぐ。しかし、父親・直樹が無理に本を読ませようとすると、理央は再び痙攣を起してしまう。直樹は申し訳なさそうに理央に発達障害があることを明かし、泣きじゃくる理央を抱えて帰っていく。「図書館では静かにするのが当たり前」という他の利用者の声に、健介の言葉を思い出す。

「当たり前って、なんだよ…」

健介に背中を押され、図書館スタッフの山下・横山に「発達障害のある子どもでも楽しめる図書館にするには」と相談した蓮は、障害や言語など特別なニーズのある子どもを対象とした図書サービス「りんごの棚」について教えてもらい――



病院に行ったら、問診票の漢字が
読めなくて…
通訳のいる病院を紹介された



タッチパネル式のセルフオーダー…
視覚障害者にとっては何がどこに書いてあるかも
わからない、平べったい板みたいなのだよ

公民館夏季臨時休館日：8月11日～15日
（8/12、15の図書貸出しもお休みです）